

# 第1回島田市ゆめ・みらい百人会議全体会会議要録

## 1 日時

平成25年10月19日（土）10:00～12:00

## 2 会場

島田市役所会議棟大会議室

## 3 出席者

委員：103人

島田市：染谷市長

事務局：石間企画部長、大石企画調整課長、秋山企画調整係長、駒形主査、岩本主査、  
小松主事

## 4 概要

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

染谷市長より、代表者（川井大輔委員）へ委嘱状を交付。

### 3 市長あいさつ

- ・ともに学び、ともに研究し、行動し、共感し、支え合う中で、行政に任せてばかりではなく、自分たちも何かできるはずと新しい活動を始める人が出てくることを期待している。
- ・この百人会議には、人材育成や人材発掘という大きな意味もある。
- ・お互いの意見を尊重した話し合いができるよう、グループごとにファシリテーターを置く。飲み物やお菓子を用意するので、和気あいあいとした雰囲気での話し合いをしていただきたい。
- ・行政は皆さんの活動をしっかりサポートしていく。

### 4 オリエンテーション

#### (1) スタッフ紹介

石間企画部長から、事務局（企画調整課）職員を紹介。

#### (2) 百人会議の概要

大石企画調整課長から、資料1に基づき説明。

### 5 正副代表の選任

代表に大石武義委員、副代表に大池真由美委員が選任された。

### 6 正副代表あいさつ

大石代表から、「市民の声を市政に反映させるためにこの会議を設置したという市長のあいさつがあった。これから知恵を出して、色々な課題を解決していかなくてはならない。この会議でつな

がりや絆をつくり、そして市民が自立をしていかななくてはならない。皆で楽しく話し合いを行い、周りの人が寄ってくるような会議にし、明るいまちづくりをしていきたい。」というあいさつがあった。

大池副代表から、「自分のできることは、ここに集まる皆さんの力が混ざり合って化学反応が起きるように、楽しく会議を進め、島田市が他からすごいまちだと言われるよう、皆さんと一緒にできればいいと思っている。」というあいさつがあった。

## 7 議事

### (1) 活動日程

事務局（大石企画調整課長）から、資料2に基づき説明。

### (2) 分科会のテーマと進め方

事務局（大石企画調整課長）から、資料3に基づき説明。

#### 【質疑】

Q1：提言書は分科会で作成するのか。合同会議での調整とはどういうことか。

A1：分科会かグループかはまだ定かでないので話し合いの中で決めていただきたいが、いずれにしても分科会の中で提言書または意見書をまとめていただく。合同会議では、どのようにまとめて市へ提出するかを話し合ってくださいことを想定している。

Q2：ひとつのグループテーマについて5人ずつのグループを作るということか。小さなグループにすると意見が偏る恐れがある。1章を16人で検討するほうが幅広い意見が出るのではないか。

A2：その方がやりやすいということであればそのようにする。皆が意見を言えるよう、少人数のグループに設定したが、16人で話し合いするというのであればそのようにしていただく。

Q3：市の現状について、市の担当課職員が付いて説明をするのか。

A3：分科会ごとに担当課職員が付くということは考えていない。次回までに資料を揃えておくということで御理解いただきたい。

Q4：例えば第3分科会のグループテーマは、それぞれが専門的なので、グループに分かれて話し合いをし、次回の分科会で発表し、皆さんの意見を聞くというほうが有効だと考える。必ずしも3つに分ける必要は無いが、分けるかどうかの判断も分科会に任せてはどうか。

A4：そのように進めたい。

Q5：この会議は夢や未来を考える場なので、あまり細かいことまで決めないほうがいいのではないか。方向性を希望としてあげていくということでしょうか。

A5：分科会ごとに皆さんのやりやすい方法で進めていただくようにしたい。

### (3) 分科会リーダーの選任

第1分科会に川井大輔委員、第2分科会に梶山善規委員、第3分科会に富岡雅伸委員、第4分科会に河原崎奈都子委員、第5分科会に戸塚康之委員、第6分科会に渡辺富士雄委員、第7分科会に横田川庄一委員が選任された。

### (4) 島田市総合計画について

事務局（大石企画調整課長）から、資料4に基づき説明。（パワーポイント使用）

### 【質疑】

Q1：市の現状を前もって知ることが必要だと思われるが、財政面の資料が今後配布されるか。

A1：分科会で必要な資料があれば準備する。HPにも決算書などの詳しい資料が載っているの  
で見たい。

Q2：スケジュールの説明で、12月のパブリックコメントを出すということだったが、1月10  
日に提出される百人会議の意見書はどのように反映されるのか。

A2：パブリックコメントへ寄せられる意見がまとまるのが1月上旬である。同じタイミング  
で、百人会議の提言または意見を可能な範囲で反映させていきたい。

### (5) 市民参加の会議について

牧之原市「津波防災まちづくり防災計画策定」の話し合いの様子をまとめたDVDを上映し、小  
さなグループごとに話し合いを行う方法等について事務局（大石企画調整課長）より説明。

### 【質疑】

Q1：この場で色々なことを決めるのではなく、すでに決められてしまっている印象を受ける  
が市長はどう感じているか。

A1：お気持ちは分かるが、準備が無ければ進まなくなってしまう。最初のところだけは行政  
で決めさせてもらったが、来年以降の進め方については皆さんの自主性にお任せしたい。

Q2：これまでの投資効果について見直しを行う予定はあるか。見直した事業費を百人会議の提  
案の実現に充てるという予定はあるか。

A2：これからの事業の方向性を決めていくため平成26年度に事業仕分けを実施する予定であ  
る。行政がやる以上、赤字だからやめるということとはできない。

Q3：早く名前を覚えられるよう胸に着ける名札を用意してほしい。

A3：すでに準備をしている。

Q4：この会議は、100人の会議ではなく、10万人の会議だと思っている。市民の意見をこの会  
議が吸い上げられるようなシステムにしていきたい。ここで扱うテーマを地域等にも反映  
させ、末端の意見も拾い上げたい。

A4：112人の会議ではなく10万人の全ての島田市民の声が吸い上げられていくことを期待して  
いる。

### (6) 質疑応答

Q1：分科会によっては、地図が必要になると思うので用意してもらいたい。

A1：話し合いに必要なものがあれば、事務局で準備するので、あらかじめ企画調整課へ連絡  
をいただきたい。

## 8 市民との意見交換会

終了時間となったため、13時05分から出席可能な委員のみで行うこととなった。

## 9 その他

事務局から、次回は11月15日（金）19時から、第1回分科会を開催することを連絡。

## 10 閉会